

寺院：福島県第14教区第255番新祥寺

住所：福島県南相馬市原町区本町1-66

<p>寺院の被害</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地震により、本堂、庫裡、その他の建物が半壊した。</li> <li>・境内の土木構造物にも被害が生じている。</li> </ul>
<p>寺院の現状</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原町区の西部は放射能汚染状態であるため、高齢の住職のみ檀務に行くようにしている。</li> <li>・放射線の影響があり寺院所在地の放射線量は高いが、行政の除染は進んでいない。</li> <li>・檀信徒の離散や放射能汚染の問題、経済的問題等、先の見通しが立たない状況に、精神的にも肉体的にも疲労している。</li> </ul>
<p>檀信徒の現状</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・震災で自宅に住めなくなった方や、放射能汚染の影響により避難を強いられている檀家がある。</li> <li>・転居先が広範囲で現在の居住先が把握できていない檀家があり、離檀した檀家もある。</li> </ul>
<p>地域の現状</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一部であるが JR 常磐線が動き出した。</li> <li>・生活物資が安定して届くようになった。</li> <li>・放射能汚染の状態が不明なため、避難者が戻れない。</li> </ul>
<p>復興の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・寺院の復旧については、難しいが可能と思う。現在、復旧の目途は立っておらず、どれくらいの時間がかかるかわからない。</li> <li>・建設会社が被害を調べた結果、本堂等の基礎部分等が心配な状態である。</li> <li>・建設会社が国や地方自治体の要請を優先しているため、民間は後回しになっている。</li> </ul>

(H25. 7. 30 現在)



左の写真は本堂の壁が落ちた様子。屋根瓦も相当数が崩落した。右の写真は警察署から身元不明の御遺骨約 40 を預かったときのもの。(撮影日不明)